

市民の負託に応じて…。

おかや 市議会だより

Okaya City Assembly News

第5号

2016年(平成28年)
10月25日発行

発行:岡谷市議会 / 編集:議会広報委員会

特集 **決算
認定**



(写真は3月9日撮影)

岡谷市民病院 駐車場現地見学会

平成28年8月9日(火)に岡谷市民病院駐車場の現地見学会がありました。

この駐車場整備のうち、正面玄関に近い車両66台分の第1駐車場が完成し、屋根付通路など進捗状況を確認しました。

11月中には駐車場工事の全てが完了する予定で、利用者の利便性向上と有効活用が期待されます。(最終的に患者向けは342台)

また玄関付近のバス停には、12月からシルキーバスとスワンバスの乗り入れが予定されています。



●もくじ

【特集】平成28年第3回定例会

平成27年度各会計決算を認定しました…2～5

議案賛否一覧 ……6

総務委員会活動報告…6

会派の紹介 ……7

ピックアップレポート…8

一口メモ ……8

編集後記 ……8

第3回定例会（9月議会）

平成28年9月5日（月）から平成28年10月3日（月）までの29日間の会期で開かれ、報告案件が4件、一般議案が4件、議員提案が5件、決算議案が12件、計25議案等が審議されました。（審議結果は6ページをご覧ください。）

なお、平成27年度一般会計・特別会計・企業会計の決算（12議案）は決算特別委員会に付託され、計4日間審査を行いました。10月3日の本会議において、委員長報告が行われ、全ての決算が認定されました。（委員長報告の内容は岡谷市議会ホームページに掲載）

各会計の決算関係について、決算特別委員会での主な審査経過をお知らせします。

審査結果 決算特別委員会 一般・特別会計・企業会計

会計名	歳入決算	歳出決算	結果
一般会計	21,714,454,057	20,995,333,481	認定
国民健康保険事業特別会計	5,783,874,061	5,714,237,567	認定
地域開発事業特別会計	1,488,530	387,819,206	認定
分収造林事業特別会計	21,998,563	20,898,038	認定
霊園事業特別会計	43,788,025	11,675,918	認定
温泉事業特別会計	29,313,001	17,260,577	認定
訪問看護事業特別会計	72,630,819	40,685,833	認定
後期高齢者医療事業特別会計	699,373,860	682,064,660	認定
湊財産区一般会計	12,976,806	4,927,861	認定
水道事業会計（収益的収支）	909,136,002	715,855,333	認定
下水道事業会計（ 〃 ）	1,828,085,064	1,581,263,600	認定
病院事業会計（ 〃 ）	7,121,542,333	8,781,091,166	認定

（円）
（企業会計収益的収支 消費税込み）

岡谷市一般会計

歳入歳出決算認定

〔平成27年度決算の評価〕

- ・6つの重要施策については、湖周地区ごみ処理施設を除いた施設において、運用を開始することができたほか、地方創生についても、岡谷市の特色や強みを生かした「岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するとともに、地方創生交付金を活用した各種施策を進めてきている。
- ・「岡谷市行財政改革3か年集中プラン」を新たに策定するなど努力を重ねた結果、平成27年度の一般会計は、実質収支で6億7900万余りの黒字を計上することができた。
- ・地方交付税の増額確保に向けた国への働きかけを行いながら、国や県の補助金を中心とした特定財源の積極的な活用に努め、基金からの繰入金において、約

2億7千万円の減額を図ったほか、財政調整基金へ1億1千万円の積立を実施するなど、後年度の財政運営に十分配慮した決算とすることができた。

・将来の負担に大きく影響する市債の状況は、キャップ制の徹底などにより、平成27年度末の現在高は、約252億2千万円で、前年度比約2億7千万円の減となっている。



決算特別委員会（一般・特別会計）審査の様子

問 シルキーチャンネル事業費について
シルキーチャンネルは「平成18年7月豪雨災害」の教訓を踏まえ、平成19年11月に開局し、現在に至っている。当時は防災メールや防災ラジオが普及していないこともあり、市民の皆さんに情報伝達手段の選択肢を増やし、的確に情

報を伝える上で非常に有効であったと認識しているが、近年は災害時等の情報伝達手段も多岐にわたり、シルキーチャンネルを開局した状況と随分変わってきている。

今後、シルキーチャンネルを運営していくには、現在の機器更新に経費がかかってくることから、費用対効果やケーブルテレビ加入者の動向、市の財政状況などを勘案し、シルキーチャンネルのあり方について、検討を深めている。

問 各区公会所の耐震診断等について
平成27年度の各区公会所の耐震診断は、横川区で耐震診断を行っている。この耐震診断と耐震化工事はセット物として考えており、その予算化については、それぞれ区の事情によって検討されている状況であるが、市としては、21区の公会所全てが大事な避難所であるので、そうした必要性も含めて、引き続き耐震化のお願いをしている。

問 雇用促進対策の主な施策について
平成27年度に実施した主な施策は、若年者に向けた「若者未来の就職応援事業」を実施したほか、高校生に対して、市内企業でのインターンシップや諏訪圏工業メッセの見学、高校進路担当教員に対して、事業所見学や企業との情報交換会などの事業を実施した。

企業に対しては、就労経験のない方を試行的に雇用し、常用雇用などへ移行した場合や非正規雇用の正規雇用への転換、処遇改善の取り組みに対する国の助成金の情報提供を実施した。また、平成27年度に誘致した4企業により54名の新規雇用が生まれている。

問 シルキーバス運行事業について

答 シルキーバス運行事業の課題として、車両の老朽化によるバスの更新や維持修繕費などの運行経費の増加、また、利用者の減少に伴う運賃収入の減少などが挙げられるが、PR活動、運行ルートやダイヤ改正等により経費の抑制を図っている。

また、平成十二年の運行開始から路線を増やすなど利用者の要望、利便性の向上を図るための取り組みを行っているが、負担が年々増加している現状であるため、諏訪市、下諏訪町と足並みをそろえて、今後運賃について値上げを検討したい。

問 不登校児童・生徒の状況について

答 不登校には様々な原因があり、主には友達関係、学業に関する心配、不安から欠席につながる傾向が多いと分析している。在籍比については、岡谷市子ども総合相談センターを設置し、各種カウンセラー、専門員の配置をしている。

るため、近年では全国や県の在籍比を下回っており、きめ細かい対応により成果が現れている。

○**討論の概要**

◆**反対討論（反対意見）**

▼家計の消費支出の長期にわたる落ち込みは、一向に改善がされていかない。地方自治体が果たさなければいけない役割は福祉の向上・充実であり、岡谷市独自の際立つものが見えてこない。それどころか国の制度改悪をそのまま受け入れてしまうという事態も少なからずある。また、市職員の正規・非正規問題やプライバシー・セキュリティの面で大きな問題を抱えているマイナンバー制度の導入、さらに、落札率については、100%落札率をはじめ95%を超えるようなものが多数あることも問題があるため、本決算認定に反対する。

◆**賛成討論（賛成意見）**

▼行政を取り巻く環境が厳しさを増す中で、行財政改革や各種事業の効率的な展開、各部署の徹底した経費削減によって、実質収支は昨年度を上回る黒字が確保できたことは、「最小の経費で最大の効果をあげる」という行財政運営の基本を着実に実行された成果であると評価する。また、他市と比較

しても見劣りしない商工業振興補助金の運用、4社の企業誘致をはじめ、新技術・新製品等ものづくりチャレンジ企業応援事業など、ものづくり岡谷を推進し、今後の市財政への波及的効果の大きい事業に取り組みされている。今後、ますます厳しい行財政課題とその運営が想定されるが、職員の英知と総動員によるチーム力を発揮され、市政の発展と市民福祉の向上を切望し、本決算認定に賛成する。 ※委員会では賛成多数により原案のとおり認定されました。

**岡谷市国民健康保険事業
特別会計歳入歳出決算認定**

問 加入状況について

答 所得階層別の構成比の状況からは低所得者層が増加する傾向であるが、総合的に勘案すると、離職して新規に国保加入する方は減少している実態があり、低所得者層の構成比を増加させる大きな要因であると考えている。また、平成27年度の税制改正により、5割軽減、2割軽減の対象となる所得基準額が見直しされ軽減制度が拡充されたため、軽減対象世帯数が増加しており、国保加入の半数以上の世帯が軽減対象という状況で、国保の財政基盤が脆弱という、構造的な課題も顕著に見られる。

○**討論の概要**

◆**反対討論（反対意見）**

▼国保加入者の所得状況は厳しいものがあり、7割・5割・2割軽減の推移をみても経済状況の厳しさが現れている。また、国庫負担の割合も目に見えるような改善がされておらず、平成27年度から窓口一部負担金が1割から2割負担、人によっては3割負担となり、医療機関を受診することが、経済的な面からも国保加入者にとって非常に負担になるものである。 さらに、国保加入者の健康、命を守るという点では、平成27年度においても、一般会計から繰り入れをするべきであったと考え、本決算認定に反対する。

◆**賛成討論（賛成意見）**

▼単年度収支では1億2640万円の赤字であるが、実質収支では6963万円の黒字である。国保基金が底をつき、国保会計が厳しい中、実質収支を黒字にできたことは評価できるものである。国民健康保険事業は平成30年度から保険者が県と県内市町村共同となるが、その間の適切な運営を要望し本決算認定に賛成する。 ※委員会では賛成多数により原案のとおり認定されました。 ※その他の特別会計等についても原案のとおり認定されました。

岡谷市水道事業会計の 決算認定

【概要】

水道の需要について、年間総配水量634万8116³m、年間総給水量は543万8579³mと前年度に比べ10万3819³m、給水量で5万5157³mの減となった。

・収益的収支は総収益8億4847万円に対し、総費用6億7869万円で、収支差引き1億979万円の純利益となった。
 ・資本的収支は、工事負担金及び企業債の収入合計1億3084万円に対し、建設改良費、企業債償還金の支出合計4億3006万円となった。建設改良費のうち関連工事の工期延長に伴い、1400万円を翌年度に繰り越した。収支不足額2億9922万円に対する財源は、内部留保資金等で補填した。

問 水道料金の現状について

【答】節水型社会の定着化、人口減少など、取り巻く環境は大変厳しい。水道料金収入は前年度より約600万円の減となったが、純利益を計上することができた。水道料金は、平成11年から据え置きと

しているが、人口減少等による料金収入の減少が避けられない中で、早急な対応が求められている。

問 老朽铸铁管の更新事業について

【答】昭和初期に布設した铸铁管の更新工事であり、平成27年度は約530m更新し、残りは約3.2kmとなっている。施設工事は、塩嶺水源の配水池の内面塗装及びシート防水、小井川浄水場の外面防水シートの設置工事等を施工した。

○ 討論の概要

◆ 賛成討論（賛成意見）

▼給水の人口や件数、さらに総配水・総給水量が減少する中、水質管理や施設の適正な維持管理に努められるとともに、水道事業基本計画に沿った老朽铸铁管の更新や耐震化の事業も計画的に推進された。収入減となった平成27年度においても1億7千万円余の利益を計上し、有収率・収納率においても緩やかな改善がみられ、さらに水道料金についても、県内トップクラスの低料金を維持していることなど大変評価できる。

厳しい経営環境の中ではあるが、より一層経営努力されるよう要望し、本決算に賛成する。
 ※委員会では全会一致により、原案のとおり認定されました。



水道：小井川浄水場フロキュレータ減速機取替工事

決算特別委員会現地視察

岡谷市下水道事業会計の 決算認定

【概要】

・市内に点在する未整備地区3.73haの整備を行ったことにより、全体計画面積の88.3%が整備され、下水道の接続戸数は2万172戸、接続人口は4万9522人である。年間の汚水量は570万1560³mで、前年度と比べ、3万5786³mの減である。

・収益的収支は総収益17億5034万円に対し、総費用15億1835万円で、収支差引き2億3

199万円の純利益となった。

・資本的収支は、企業債、補助金、負担金の収入合計9億3037万円に対し、建設改良費、企業債償還金の支出合計14億6413万円となった。建設改良費のうち、国との協議結果や関連工事の進捗状況に伴い、7898万円を翌年度に繰り越した。収支不足額5億3375万円に対する財源は、内部留保資金等で補填した。

問 経営状況について

【答】平成27年度は下水道使用料見直しの年であり、平成28年度からの3年間についても使用料を据え置くこととした。汚水量や下水道使用料収入は減収し、長寿命化事業を含む施設の維持管理や、大地震への危機管理対策など、厳しい経営環境が続いている。平成27年度は、下水道使用料が前年度と比べ440万円程減少したが、企業債の支払利息の軽減や修繕料、委託料の削減などにより、純利益を計上することができた。

問 危機管理対策・防災対策について

【答】下水道総合地震対策計画の短期計画により、地域防災計画に定められている防災拠点となる市役所、警察署、消防署及び避難施設となる4中学校や病院など、重要

施設につながる管路についての耐震化工事とマンホールの浮上防止工事を実施している。

平成27年度の工事内容は、耐震化として管更生工事が298m、マンホールの管口が16箇所、マンホール浮上防止工事を56箇所行い、市内3中学校にマンホールトイレを8基ずつ設置した。



下水道：マンホールトイレ設置工事（岡谷南部中）

決算特別委員会現地視察



マンホールトイレ

○討論の概要

◆賛成討論（賛成意見）

▼下水道普及率の向上に伴い、既存施設の維持や更新、企業償還などが重要な課題となっているが、整備から維持へと変化する中で、下水道長寿命化計画に基づく管路更生工事やマンホールトイレの設置を含めた下水道総合地震対策計画に基づく耐震化工事、雨水

渠整備工事を実施され、経常利益が約2億4千万円となったことは、大変評価する。

また、財政運営の安定化が図られ、経営努力により下水道使用料を据え置きながら経営されていることに感謝し、今後も未接続地域への対応や施設の維持更新などに引き続き努力され、長寿命化計画、建設改良工事、耐震化の推進に努めることを要望し、本決算認定に賛成する。

※委員会では全会一致により、原案のとおり認定されました。

岡谷市病院事業会計の決算認定

【概要】

平成27年度は、新病院建設工事の竣工、10月の新病院開院の実現、病院開院後の運営を早期に軌道に乗せることを念頭に、職員一丸となつて取り組みを重ねてきた。天野院長の就任により、組織体制の強化が図られるとともに、「シニアこころ診療科」、「歯科口腔外科」の開設やリハビリテーション体制の強化、診療サポート室の運用拡大等により診療体制の充実、強化を図ることができた。

決算については、新病院開院に伴う特別損失の計上により16億

円を超える純損失となり、資金残高は前年度と比べ約2億円の減少となったが、経常収支では1億3千万円を超える黒字決算となった。

問 新病院建設に至った開設者（市長）としての総括

答 市制始まって以来の大規模プロジェクトであった新病院建設を実現できたことは、大きく評価している。新病院は建設が最終目的ではなく、市民や地域の方々の生命や健康を守り、災害時には被災者の救護の拠点となるなど、まさにこれからの市民生活の安全安心を支えていく重要な施設であることから、健全な経営のもとで総合病院としての機能を維持しながら、求められる幅広い医療を継続し提供するという目的を果たすために、さらなる充実に取り組みでまいりたい。

問 接遇改善について

答 研修会等で様々な場面での事例等を取り入れながら全職員への周知や理解を深めている。職員はこの新病院をより良い病院にしたいという共通の目標を充分認識しており、今まで以上に全職員に対して意識改革を浸透させたい。

問 医師確保について

答 引き続き信大から医師の補充をさせていただくなど、連携の強化を図っているほか、民間業者やドクターバンクを通して募集を行っているが、全国的にも整形外科、産婦人科、耳鼻科の医師が不足しており厳しい状況が続いている。地域に根付く優秀な医師の獲得は、地域医療の向上につながるものと考えており、今後も最重要課題として取り組みたい。

○討論の概要

◆賛成討論（賛成意見）

▼平成27年度は市民待望の新病院が開院となり、組織の強化を図り、歯科口腔外科の充実、最新の機器や設備の導入など診療体制の強化にも取り組まれるとともに、財源確保、経営改善に努められ、経常収支で黒字を計上されたことは高く評価できるものである。引き続き、接遇の改善、待ち時間の短縮などの患者サービスの向上や救急医療、高齢者医療のさらなる充実に努められるとともに、医師確保の取り組みを一層強化され、地域医療との連携を図りながら、自治体病院としての使命を十分発揮できるように努力をお願いし、本決算の認定に賛成する。

※委員会では全会一致により、原案のとおり認定されました。

各議員の議案賛否一覧表

議案番号	件名	付託委員会	審議結果	竹村安弘	今井義信	早出一真	渡辺雅浩	今井秀実	笠原征三郎	中島保明	藤森博文	遠藤真弓	笠原順子	共田武史	今井康善	大塚秀樹	小松壮	八木敏郎	武井富美男	浜幸平	渡辺太郎
報告第13号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)		報告	議長	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第14号	専決処分の承認を求めることについて(平成28年度岡谷市一般会計補正予算(第3号))		承認	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第15号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)		報告	議長	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第16号	専決処分の報告について(平成28年度岡谷市一般会計補正予算(第4号))		報告	議長	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
議案第55号	平成27年度岡谷市一般会計歳入歳出決算認定について	決算特別	認定	議長	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	平成27年度岡谷市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	認定	議長	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	平成27年度岡谷市地域開発事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	平成27年度岡谷市分収造林事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	平成27年度岡谷市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	平成27年度岡谷市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	平成27年度岡谷市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	平成27年度岡谷市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	認定	議長	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	平成27年度岡谷市湊財産区一般会計歳入歳出決算認定について	決算特別	認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	平成27年度岡谷市水道事業会計の決算認定について	決算特別	認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	平成27年度岡谷市下水道事業会計の決算認定について	決算特別	認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	平成27年度岡谷市病院事業会計の決算認定について	決算特別	認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	岡谷市教育委員会委員の選任について		同意	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	岡谷市廃棄物処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	社 会	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	平成28年度岡谷市一般会計補正予算(第5号)	3 常任	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	平成28年度岡谷市一般会計補正予算(第6号)	総務産業建設	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	私立高校への公費助成に関する意見書	(総)	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	私立高校への公費助成に関する意見書	(総)	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	県道下諏訪辰野線拡幅改良を求める意見書	(超)	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	給付型奨学金の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書	(超)	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員派遣について	(議)	決定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長：議長職のため採決に加わらず ○：賛成 ×：反対

総務委員会活動報告

※各委員会の活動は随時掲載していきます。

総務委員会「通学合宿(エンジョイ&GOスクール)」視察 開催日 9月30日(金)

この事業は、小中高校生の異年齢の子ども達と一緒に宿泊(生活)をしながら学校に通学し、家庭や学校で普段体験できない活動等をみんなで決めて実施し、仲間づくりをするものです。9月29日～10月1日までの2泊3日で行われ、88名の子ども達が参加していました。9月30日の夕食はバーベキューでしたが、高校生のリーダーから手順等の説明を受け、大人の手を借りず班の仲間で協力し合いながら一生懸命準備していました。施設の課題や自主的活動の可能性を知ることができました。



総務委員会 岡谷市PTA連合会と懇談 開催日 8月22日(月)

岡谷市PTA連合会は、小学校7校、中学校4校 計11校の役員で組織されており、「かけがえのない岡谷市の子どもたちのために」を基本方針に掲げ、3つの専門部会である単P会長会、母親委員会、教育問題研究委員会と連携を図り、各学校との情報交換を密にし、各々の課題について共有と協力をしながら活動をしています。

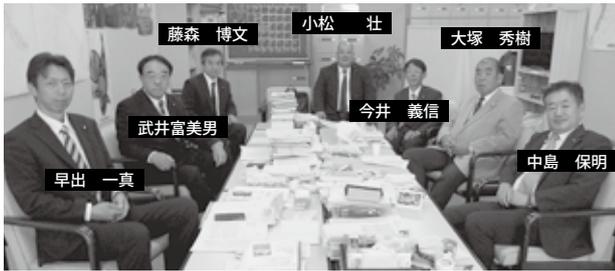
懇談会では、「PTA活動の課題」「小中学生や保護者等の現状と課題」など意見交換を行いました。PTA役員の成り手がなく苦勞している、学級懇談会や地区懇談会等への参加者が少ない、父親のPTA参加、通学路の危険性、少子化に伴う部活数の減少と活動時間の制限、スマホやSNSの問題など、保護者の生の声をお聞きし様々な課題を認識することができました。



会派の紹介

会派とは、同じ理念や主張を共有する議員の同志的なグループです。岡谷市議会では、2人以上の議員をもって構成することになっています。（正副議長は会派に属しません。）

新風



会 長 小松 壮 副事務局長 今井 義信
幹 事 長 藤森 博文 会 計 中島 保明
副幹事長 早出 一真 相 談 役 武井富美男
事務局長 大塚 秀樹

岡谷市に対する思いや理念、政策の方向性がほぼ同一の議員9名が集まり「岡谷市に新しい風を吹かせよう」との思いから会派名を「新風」といたしました。

しかし2名が正副議長就任となりましたので、現在7名の会派として日々勉強・市民要望には迅速に対応しております。市民の皆様とお約束をいたしました公約の実現に向けて、7名全員で取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

信政おかや



代 表 渡辺 太郎
幹 事 長 浜 幸平
副幹事長 共田 武史
事務局長 今井 康善

誰もが安全で安心して暮らせる岡谷市を目指し、未来ある子供たちのために全力で行動する保守・中道の会派です。市民負託に応えられる様、広く市民の声を聞き、調査・研究・視察等を積極的に行っています。

時代の変革と課題に的確に対応できる議会を目指し、政策立案能力向上のために、互いに切磋琢磨・研鑽に努めています。

日本共産党岡谷市議団



団 長 渡辺 雅浩
副団長 笠原征三郎
幹事長 今井 秀実

日本共産党岡谷市議団は、住民が主人公の政治の実現を目指し、市民の皆さんの切実な声を聞きとり、その実現のために全力を尽くしています。戦争法の強行や消費税増税など、安倍政権のもとで平和が壊され国民生活がより一層苦しくなっている現状を直視し、国政にも物言いながら、市民生活の守り手として頑張っています。

さわやか



会 長 遠藤 真弓
幹事長 笠原 順子

皆さんの感じる生きづらさを、少しずつでも解消する為に、私たちは女性の目線で物申す会派を結成しました。お互いの意見をぶつけ合いながら、世代や、歩んできた環境の違いを超えて、答えを選んで参る所存です。

人口の半分が女性なのです。そこにある個々の生活が「確かな生活」になる為に頑張って参ります。

行政についての要望や意見を文書で議会に出すことができます

行政に対する市民の要望や意見を直接反映させるための方法として、誰でも請願書や陳情書を議会に提出することができます。提出方法など、詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

議会をシルキーチャンネルで見ましょう

一般質問をシルキーチャンネルで中継しておりますのでご覧ください。また、本会議の会議録は、図書館、市役所1階情報コーナー、市ホームページ、議会事務局で見ることができます。

議会を傍聴しませんか

傍聴をご希望の方は、市役所9階の傍聴者入口前の机の上に用意されている傍聴人受付用紙に「氏名・住所・年齢」をご記入いただき議場内にお入りください。耳の不自由な方には、集音器の貸し出しを行っています。希望される方は、市役所7階の議会事務局へお立ち寄りください。入退室は、会議中でも自由にできます。

ピックアップレポート

三団体主催による議会との懇談会が開催される



8月24日夜、市役所9階大会議室において、市内3団体との懇談会が開催されました。連合壮年会、連合婦人会、高齢者クラブ連合会から約60名の出席があり、議会のあり方や市政における課題について意見を交わしました。質問は事前に通告をいただき、議会側が答えた後、会場から再質問するという形で進み、議員定数、政務活動費、一般質問の内容などについて議論が及びました。これらの課題に前向きに取り組むと共に、現在「議会基本条例制定」に向け全議員を構成員とする策定委員会を設置して精力的に協議を進めており、今後、市民の負託に応えるように努めてまいりたいと思います。

各団体代表者の感想

予め質問を通告する形を取りました。各議員さんが事前の学習をされ答弁を戴き感謝します。但し限られた時間の中でのやり取りですので臨機応変の対応が必要と思えました。今まで以上に市民の声を聴取し行政に反映して下さい。政務活動費については市民に理解を得られる工夫をし、ホームページに掲載願います。

岡谷市連合壮年会
会長 増澤 敏一



市議会議員との懇談会は、限られた時間を有意義に使い、最終テーマにそって事が進められ、実のある会でした。

市民が気になっている行財政改革や介護予防等について、議員の考えをお聞きすることができ、大変参考になりました。この事を議員として行政側に積極的に伝えてほしいと思えました。

型にはまった会ではなく、意見交換の中で議員の迫力ある弾んだ声が聞けるような活発な会になることを期待しています。

岡谷市連合婦人会
会長 上沼 縁

今年の懇談会は3テーマを一会場で論議し、それぞれが持つ考えや思いを出し合い、その声を議会を通じて市政に反映していただくことでした。

闊達な意見交換ができ、成果があったと感じましたが、3団体としてこの種の会議で心すべきは、事に乗り過ぎ、感情的・狭小的にならないことではないかと思えます。次回は、岡谷市の発展のために互いにより一層理解を深め合う懇談会となることを望みます。

岡谷市高齢者クラブ連合会
会長 川窪 照昭

一口メモ

議会に対する理解が深まることを願って、議会用語を解説します。

・会期(かいき)…… 議会が法的に活動できる期間(開会日から閉会日まで)のことです。本会議初日の冒頭、議決により決定します。議案の審議が会期中に終わらない場合などは、あらためて議決によって、会期を延ばすこと(会期延長)もできます。



- 議会広報委員会
- 委員長/八木 敏郎
 - 副委員長/今井 義信
 - 委員/浜 幸平
 - 委員/藤森 博文
 - 委員/笠原 順子
 - 委員/渡辺 雅浩

(編集委員一同)

これから、市民の皆様にご覧いただき、市議会議員とよりなるよう取り組んでまいりますので、引き続きご意見や要望、感想などを議会事務局までお寄せください。

これからの、市民の皆様にご覧いただき、市議会議員とよりなるよう取り組んでまいりますので、引き続きご意見や要望、感想などを議会事務局までお寄せください。

また、四つの会派で構成されている本市議会のそれぞれの紹介・想いを掲載いたしました。

今年度は平成28年9月定例会中に行われました決算特別委員会において、平成27年度「一般会計・特別会計」及び「企業会計」の歳入歳出決算認定についての審査内容の特集いたしました。

また、四つの会派で構成されている本市議会のそれぞれの紹介・想いを掲載いたしました。

編集後記

おかや市議会だより「第5号」をお届けします。

今年度は平成28年9月定例会中に行われました決算特別委員会において、平成27年度「一般会計・特別会計」及び「企業会計」の歳入歳出決算認定についての審査内容の特集いたしました。

寄附行為の禁止

市議会議員が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは、公職選挙法で禁止されており、違反すると処罰されます。また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。市民の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

・政治家は有権者に寄附を「贈らない」・有権者は政治家に寄附を「求めない」・議員から有権者への寄附は「受け取らない」

＜寄附行為に該当する事例＞

- ・お祭り、運動会、親睦旅行会、会合等の行事や、入学式、卒業式の行事に対し、寄附、餞別、お祝い、差し入れ等をする事。
- ・個人に対し、お中元、お歳暮、入学祝、結婚祝を贈ること(議員自らが出席する結婚披露宴への祝儀や葬式における香典は除く)。
- ・未成年者、社会福祉施設、市町村に対する寄附や年賀状、寒中見舞状などの時候のあいさつ状を出すこと(答礼のための白筆によるものを除く)。

